

閉会中の 行政視察報告 我が町に活かそう

総務文教常任委員会

福祉充実に定住進む

全国的に少子高齢化が進む中、若者の定住が進み出生率が高く、高齢化率が低い事で有名な長野県の川上村を視察。

主な基幹産業は農業で、水田は無く畑作のみ。夏レタスは生産高日本一。農繁期は3～10月で深夜1時～2時からの作業。農閑期には娯楽・趣味・旅行など自由にできる環境にある。

粗収入は、一戸当たり年平均2千万～8千万円で、農繁期に介護の必要な人がいる場合はショートステイ入所、農閑期に自宅に帰るなど、福祉事業が充実している。

農家であるため時間に余裕があり子育てに向いた環境にある。

あらゆる母子保健事業と福祉事業が診療所・社会福祉協議会・デイ



大規模な川上村のレタスほ場

サービスが共有する事務所で連携充実。出生率や、若者定住率が高い理由がうかがえる。

そして、繁忙期には各農家で多くのアルバイトを雇用。仕事にきた若い女性が農家に嫁ぐケースもあり、高学歴のお嫁さんも多いそう。農業の特性を利用した政策に取り組んでいる。

産業建設常任委員会

環境にやさしい政策を实践

環境対策事業の視察として、宍道湖の水質保全のため、家庭から出る廃食油の有効処理やバイオマス活用を行っている出雲市平田地区・鳥取市東部広域行政管理組合を視察。

また、市内公共施設の除草作業によって発生した刈草を堆肥化しており可燃ごみとして処理していた時より時間経費の節減と、ごみの軽量化を図り、循環型社会の形成に取り組んでいた。堆肥は学校・公共施設へ還元している。

廃食油の有効処理利用をしている出雲市では48箇所（本庁・コミュニティ施設・各支所）に設置した回収ボックスに出された廃食油で一日400ℓのディーゼル燃料が精製される。それをごみ収集車・市営バスの燃料として利用し低公害・循環型社会の形成を図っている。

鳥取市東部に位置する広域行政管理組合では、し尿処理により発生した脱水汚泥をペレット状の肥料にする事業に取り組んでいる。出来上がった肥料はJAに委託販売し循環型社会を目指していた。

矢山武議員功労賞授与



全国町村議会議長会創立60周年記念特別表彰として、在職30年以上の長きに亘り町議会議員として地方自治振興に寄与された矢山武議員が功労賞を授与されました。



刈草のたい肥化作業（出雲市平田地区）